

整備項目表(道路)

1 歩道等

整備項目	整備基準	整備状況	摘要	
歩道等	平たんで、滑りにくく、かつ、水はけの良い舗装の仕上げ	適・否		
	排水溝へのつえ、車いす等の使用者の通行に支障のない溝ぶたの構造	適・否		
	有効幅員は、歩道については2m以上、自転車歩行者道については3m以上	歩道 m 自転車歩行者道 m		
	歩道等の形式			
	セミフラット形式を基本とする	適・否		
	歩道等に、車道等又は自転車道に接続して縁石線を設置	有・無		
	歩道等に設ける縁石は、車道等より15cm以上高 (車両乗入れ部、横断歩道箇所を除く。)	cm		
	歩道等の車道等に対する高さ5cmを標準 (横断歩道に接続する歩道等の部分を除く。)	cm		
	横断勾配2%を標準 (透水性舗装の採用等により排水が図れる場合には、1%以下。)	%		
	縦断勾配5%以下 (沿道の状況等により8%以下。)	%		
	歩道等の巻込部及び横断歩道に接続する歩道等の部分			
	1.5m程度の延長の平たんな区間の設置	m		
	歩道等と車道等との段差2cmを標準	cm		
	必要に応じて視覚障害者誘導用ブロックを敷設 (黄色その他の周囲の路面との輝度比が大きいこと等により当該ブロック部分を容易に識別できる色とすること。)	有・無		
車両乗入れ部の有効幅員のうち、平たん部の幅員1m以上	m			

2 横断歩道

整備項目	整備基準	整備状況	摘要
横断歩道	横断歩道箇所における分離帯は、車道と同一の 高さ (分離帯で滞留させる場合は、段差は2cmを標 準。)	cm	

3 横断歩道橋等

整備項目	整備基準	整備状況	摘要
横断歩道橋	主たる階段が、回り階段でないこと (構造上困難な場合を除く。)	適・否	
	階段、傾斜路及びその踊場における両側への手 すりの設置	有・無	
	粗面又は滑りにくい材料による表面の仕上げ	適・否	